

第4学年 国語科学習指導案

日 時 平成23年10月6日（木）6校時
児 童 滝沢村立柳沢小学校 第4学年
（男子2名 女子3名 計5名）
指導者 角張 千恵子

1. 単元名 説明のしかたについて考えよう

2. 学習材名 「アップとルーズで伝える」
「仕事リーフレット」を作ろう（光村 第4学年教科書教材）

3. 単元について

（1）児童観

本時で扱う学習材は、説明的文章である。児童はこれまで「初め・中・終わり」という文章構成の説明的文章を通して、文章中の段落の役割を考えたり、段落相互の関係について考える学習を積み重ねてきた。また、4年生になり、筆者の考えに対して自分自身の考えをまとめたり、アンケートの結果について考え、報告したりする学習を通して、高学年の学習へと続く力を身に付けつつある。

「アップとルーズで伝える」の単元では、写真と文章を対応させて読みながら、段落の対比関係について学習する。「対比して述べる」という説明の工夫は、何かを説明したり、複数のものを比較して述べたりするあらゆる場面で使うことができる。ここで学習した文章構成を、『仕事リーフレット』を作ろうで生かせるようにしたい。

また、「アップ」と「ルーズ」をものの見方、考え方として身に付けることで、何から説明していくとわかりやすいか、どちらを先に説明するとどのような効果があるかを自分で考えられるようにしていきたい。

（2）指導観

ア. 単元の構成・指導のねらい

「アップとルーズで伝える」は、私たちがよく目にしているテレビの映像技法を中心に述べられた文章である。児童にも身近に感じられる内容であり、実際に確かめることも容易である。また、「アップ」と「ルーズ」という言葉について比較的わかりやすく述べられており、対比的な段落関係から段落構成・段落の中心、要約などの学習にも適している。内容を理解し、楽しみながら読む力を育むことができる単元である。

『仕事リーフレット』を作ろうは、「アップとルーズで伝える」で学んだことをもとに、写真に対応する説明の文章を書く。文章と写真を効果的に組み合わせて「アップ」と「ルーズ」の視点を使って表現できるようにする。対比して述べることで、自分の考えを効果的に伝えることができることを理解させたい。

写真と説明の関係を使いながら、自分の考えが明確に伝わるような写真を選んだり、写真の内容を正確に説明する文章を考えたりしながら、非連続型テキストへの理解を深め、文章を構成する力を身に付けさせられると考える。

イ. 指導上の工夫

単元の導入では、「社会科見学で調べた仕事をリーフレットでお家の人に伝えよう」と提案する。その上で、リーフレットとはどんなものか、写真と文章でわかりやすく説明するためにはどうしたらよいかという視点で、「アップとルーズで伝える」の説明文を読むことができるようにしたい。

第2次の「アップとルーズで伝える」を読む段階では、アップとルーズの違い、それぞれの長所を

対比させながらおおまかな段落構成を把握させたい。また、この單元では、写真を元にアップとルーズの効果の説明している。アップとルーズで伝えられることを確認し、リーフレットを書くときにどの写真を使うか、対応する文章にどのような内容を書くかを考えさせたい。

第3次のリーフレット作りでは、二つ折りの構成とし、写真を中心として送り手として伝えたい思いを十分に引き出し、ペアで一つの仕事についてリーフレットを仕上げる。受け手が知りたいだろう「どんな仕事か」の部分については書くようにさせたい。リーフレットを作る際には、「リーフレット作りのガイドブック」を用意し、自力で書き進める助けとしたい。

(3) 研究にかかわって

ア. 指導目標（育成を目指す言語能力）

◎それぞれの段落が文章全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読むことができる。

（読むこと イ）

◎書こうとすることの中心を明確にして、写真と文章を対応させながら、段落相互の関係に注意して文章を書くことができる。

（書くこと ウ）

イ. 主たる言語活動

写真と文章を対応させた説明のしかたを利用して、リーフレットを作成する。（言語活動 ウ）

ウ. 「伝え合う力」を育成するための手立て

説明的な文章を読みながら、その内容を正確に理解することは、相手の立場や考えを理解し、伝え合う力を身に付けることに通じる。また、段落相互の関係に注意して文章を構成することは、自分の考えや思いをわかりやすく伝える力に通じていくと考える。リーフレット作りを通して、相手を意識しながら、理由や事例を挙げ「わかりやすく伝える」ための方法を考えさせたい。

4. 単元・教材に関する主たる評価規準

○写真と文章を対応させて、興味をもって説明的文章を読もうとしている。（関心・意欲）

○写真と本文の対応関係や対比・補足・例示など文章全体の構成と段落との関係を理解している。（読む）

○書くことの中心を明確にし、理由や事例を挙げ、文章に対応した写真を用いて書いている。（書く）

○句読点を適切に打ち、必要な箇所は行を改めて書いている。（言語についての知識・理解・技能）

5. 学習指導計画（全14時間）

第1次 学習課題を設定し、単元の見通しをもつ。（2）

・『「仕事リーフレット」を作ろう』を読み、リーフレットの作り方を概観する。 1

・「アップとルーズで伝える」を読み、学習計画を立てる。 1

第2次 「アップとルーズで伝える」を読む。（6）

・1・2・3段落を読み、「アップ」と「ルーズ」とは何かを読み取る。 1

・4・5・6段落を読み、「アップ」と「ルーズ」の特徴を読み取る。 1

・「アップ」の写真では、どのようなことが説明できるか考える。 1

・「ルーズ」の写真では、どのようなことが説明できるか考える。 1

・7・8段落を読み、「アップ」と「ルーズ」の使い分け方について読み取る。 1

・全文を読み、筆者が用いている説明の工夫についてまとめる。 1

第3次 仕事リーフレットを作る。（6）

・教材文を読み、リーフレット作りのポイントを整理する。 1

・アップとルーズの効果を考えて写真を選び、構想メモを書く。 1

・選んだ写真を説明する文章を下書きする。 1（本時）

・レイアウトを考えて、清書する。 2

6. 本時の指導

(1) 本時のめあて

伝えたいことを考えて、選んだ写真に対応する文章を書くことができる。

(2) 展開

段階	主な学習活動	留意事項 (○)【評価の観点】《方法》
導入 5	1. 本時の課題を理解する。 写真の説明するために大事なことを考えよう。	○お家の人に伝えたいことを説明するには、どのようにすればよいかを考えて、リーフレットを書く学習であることをおさえる。 ○この時間に、下書きを終わらせることを目標とすることを伝える。
展開 35	2. 「アップ」と「ルーズ」で伝えられることを確かめる。 ・アップの写真を使う。 →自分が着目したところや驚き、発見などの思いが伝えられる。 ・ルーズの写真を使う。 →仕事の内容について説明できる。 (例) 消防署・・・消防士の人は、自然災害の時に災害にあった人を助ける仕事もしている。 3. 伝えたいことを考えて、写真に合うように文章を書く。 4. 書いたものを、グループで読み合い、助言し合う。 ・お家の人立場になって、内容が伝わるか考える。 ・写真の内容に合った文章か考える。	○「アップとルーズで伝える」の学習を振り返り、それぞれの特徴を思い出させる。 ○どんな仕事かを伝えるためには、「だれが、どこで、いつ、何を」のように、書かないと意味が伝わらないことがあることを確認する。 ○仕事の大変さやすばらしさ、驚きなどそれぞれの思いが伝わるように支援する。 ○自分が着目したことを伝えるためには、どうして着目したのか理由が伝わるように書くことを伝える。 ○200字程度で書かせる。 【書く】 伝えたいことを考えて、写真に対応した文章を書いている。《作品》 ○途中でも時間を区切って、できたところまでで読み合わせる。
終末 5	6. 友達の書いた文章から、良さを紹介し合い、本時の学習を振り返る。 ・アップの写真→自分の思いや発見を伝えることができる。 ・どんな仕事かを説明するときには、「だれが、どこで、いつ、何を」を書くが良い。	○学習したことが生かされると、読んだ相手もわかりやすいことを確認する。 ○次時から、清書をしていくことを伝える。

(3) 評価規準

観点	A: 十分満足できる例	B: おおむね満足できる	Cの児童への手立て
書くこと	お家の人に伝えたいことを考えて、選んだ写真にあった説明を、表現や構成を工夫しながらより具体的に書いている。	お家の人に伝わるように、選んだ写真にあった説明を書いている。	どんな仕事かをまず書かせ、何を伝えたいのかを確かめながら、写真と文章を対応させていく。

(4) 板書計画

アップの写真↓自分の思いや発見を伝えることができる。
どんな仕事かを説明するときには、「だれが、どこで、いつ、何を」を書くといい。

教科書の拡大図

どんな仕事を伝えるとき

- ・だれが
- ・どこで
- ・いつ
- ・何を

ルーズの写真

伝わること↓広いはんい

アップの写真

伝わること↓細かい部分

「仕事リーフレット」を作ろう

写真を説明するのに大事なことを考えて書こう。